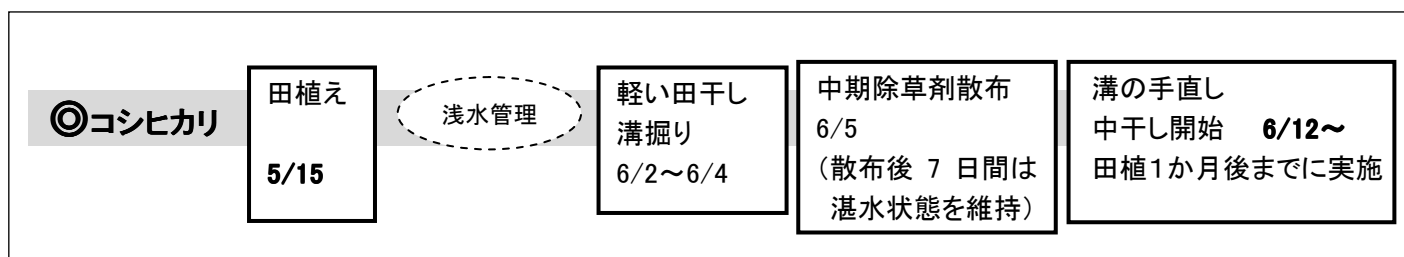


**浅水管理により地温を高め、分けつの発生を促す。
溝掘りは田植 20 日後を目安に行い、
中干しは田植1か月後までに実施する。**

＜田植後のスケジュール例＞

○中期除草剤を散布する場合の例



＜今後の管理＞

1 活着後（田植5日後）の水管理

- ① 3cm 程度（田面が露出しない程度）の浅水管理を行う。
早朝入水、日中は止水により地温の上昇に努める。
- ② 藻類が発生したり、わいている田では水の入れ替えや
暖かい日に1～2日程度の軽い田干しを行う。

藻が繁茂すると
ジャンボ剤の効果が
低下するので注意。



藻が発生している状況

2 溝掘りと中干し

- ① 田植 20 日後を目安に溝掘りを行う。
- ② 15 条ごとに 1 本を目安に溝を掘る。
- ③ 中干しは田植1か月後までに遅れずに実施する。

溝を設置し、
水管理を
効率的に行う。



溝掘り

3 中期除草剤の散布

- ① 雑草が発生した場合は雑草の種類や大きさに応じた薬剤を散布する。

薬剤名	10a当り 散布量	散布時期	適用雑草名、注意事項等
テッケン1 [※] 粒剤	1kg	田植15～30日	1年生（ノビエ4葉期まで）・ホタルイ、ウリカワ等
レプラス1 [※] 粒剤	1kg	田植15～30日	1年生（ノビエ4葉期まで）・ホタルイ、ウリカワ等 （ホタルイ、クログワイが多い場合に使用）
ザーベックスDX1 [※] 粒剤	1kg	田植20～30日 （イネ5葉期以降）	1年生（ノビエ3葉期まで）・ホタルイ、ウリカワ等 高温時（30℃以上）、低温時（15℃以下）は使用しない。
マメットSM1 [※] 粒剤	1kg	田植20～30日 （イネ5葉期以降）	1年生（ノビエ3葉期まで）・ホタルイ、ウリカワ、藻類による 表層剥離等 高温時（30℃以上）、低温時（15℃以下）は使用しない。

※散布後4～5日間は
湛水状態を維持し、
散布後7日間は落
水しない（減水した
場合は、ゆっくり入
水する）。

4/1～5/31 春の農作業安全運動実施中！